

# 京都滋賀体育学会だより No.35

<http://www.kyoto-taiiku.com>

平成 24 年 4 月 1 日

京都体育学会は **京都滋賀体育学会** に生まれ変わりました。

Kyoto and Shiga Society of Physical Education, Health and Sport Sciences

また 日本体育学会の社団法人 → 一般社団法人への移行を受けて

日本体育学会 **京都滋賀地域** の業務を担当することとなりました。

※一般社団法人化にともない、これまでの **京都支部** の呼称は使えなくなりました  
会則等を読み替えることとなりますので、次回総会にてご報告致します

## I 平成 23 年度事業報告

### (1) 第 141 回京都体育学会大会

日時：平成 24 年 3 月 3 日（土）9：20～

場所：びわこ成蹊スポーツ大学（第 2 講義棟・大ホール）

参加者：77 名（会員 41 名，臨時会員 36 名）

研究発表：38 題（若手研究奨励賞選定対象発表 35 題，一般発表 1 題，研究助成報告 2 題）

#### ◆若手研究奨励賞選定対象発表 35 題（ポスタープレゼンテーション）

- 連続跳躍運動が小学生高学年の疾走動作に与える即時的効果について  
○九鬼靖太（京都教育大学），小山宏之・磯崎大二郎・奥村将太・山口拓哉（京都教育大学）
- チューブによる牽引跳躍トレーニングが疾走動作に及ぼす影響—女子選手による効果の検証—  
○森本隆太（びわこ成蹊スポーツ大学），志賀充（びわこ成蹊スポーツ大学）
- 短距離走における認識に関する指導が技能成果及び情意成果に及ぼす影響—論理的認識と身体的認識に着目して—  
○藪田祐輝（立命館大学），深田直宏（桐生市立川内小学校），大友智・山浦一保・大塚光雄・小沢道紀・長積仁・種子田穰・伊坂忠夫（立命館大学）
- 短期間のトレーニングが中高年者の短距離疾走能力に及ぼす影響—公開講座『全力疾走に挑戦』に関する研究—  
○西田佳織（びわこ成蹊スポーツ大学），志賀充・岩井雄史（びわこ成蹊スポーツ大学）
- 水平方向のジャンプ能力と加速区間の疾走能力との関連性について—女子選手に着目して—  
○大磯一樹（びわこ成蹊スポーツ大学），志賀充（びわこ成蹊スポーツ大学）
- エリートシンクロナイズドスイミング競技選手の股関節屈曲角度の再現性  
○矢野幸子（同志社大学），小森康加・川合結万・藤永朋子・中村康雄（同志社大学）

7. エリートシンクロナイズドスイミング競技選手の股関節屈曲角度の再現性—フィードバック方法からみた即時効果の比較—  
○川合結万(同志社大学), 小森康加・矢野幸子・藤永朋子・中村康雄(同志社大学)
8. 野球のゴロ捕球における時間的分析  
○長谷川弘実(京都工芸繊維大学大学院), 来田宣幸(京都工芸繊維大学), 野村照夫(京都工芸繊維大学)
9. 野球の外野手におけるキャッチング動作の研究  
○山中祥祐己(立命館大学), 田中潤・垂脇匡宏・岡本直輝(立命館大学)
10. ソフトテニス・グラウンドストロークにおけるラケットヘッドの速度生成への各関節の貢献度の検討  
○奥村将太(京都教育大学), 小山宏之・杉本和那美・大宅和幸・磯崎大二郎・九鬼靖太・山口拓哉(京都教育大学)
11. スピードウォーキングが背筋にあたえる効果  
○岩井雄史(びわこ成蹊スポーツ大学)
12. 女子走高跳に関するバイオメカニクスの研究—短助走に着目して—  
○磯崎大二郎(京都教育大学), 小山宏之・大宅和幸・田中康夫・奥村将太・九鬼靖太・山口拓哉(京都教育大学)
13. つま先立ち時の立位制御ダイナミクス—静止立位との比較—  
○田辺弘子(京都大学), 藤井慶輔・神崎素樹(京都大学)
14. 温熱負荷時における体温調節反応の季節差に与える運動習慣の影響  
○良川諒介(京都工芸繊維大学大学院), 殿北将太(京都工芸繊維大学), 芳田哲也(京都工芸繊維大学大学院)
15. フラクタル解析による運動単位発火のゆらぎの定量  
○吉井裕八(京都大学大学院), 長田かおり・神崎素樹(京都大学大学院)
16. 身体活動量および強度の違いが動脈ステイフネスに及ぼす影響  
○茂山翔太(滋賀県立大学大学院), 南和広・吉田龍平・山田明・福井富穂・高山博史・寄本明(滋賀県立大学), 寺村康史・矢野秀樹・林進(彦根市立病院)
17. 温熱負荷時の温冷感上昇と運動習慣及び性差との関連性  
○殿北将太(京都工芸繊維大学), 良川諒介・芳田哲也(京都工芸繊維大学大学院)
18. ノイズ印加による動作調節・運動単位の変調  
○長田かおり(京都大学大学院), 神崎素樹(京都大学大学院)
19. バスケットボール女子学生初心者のセットシュートの習熟過程  
○山口拓哉(京都教育大学), 小山宏之・磯崎大二郎・奥村将太・九鬼靖太(京都教育大学)
20. バスケットボールフリースローにおける質的分析を用いたコーチングの事例研究  
○垂脇匡宏(立命館大学), 山中祥祐己・山本剛史・岡本直輝(立命館大学)
21. 第64回全日本フェンシング選手権大会における攻撃動作に関する研究  
○荒金翔平(同志社大学), 小森康加・藤澤義彦(同志社大学)
22. 大学野球選手のバント利用法についての意識・実態調査の報告  
○西純平(立命館大学), 山中祥祐己・垂脇匡宏・岡本直輝(立命館大学)
23. 大学生スポーツ選手における競技活動中の視力矯正状況に関する調査—種目特性からみた競技間差異—  
○藤永朋子(同志社大学), 小森康加・川合結万・矢野幸子(同志社大学)
24. 失敗時における指導者の懲罰に対する認知が選手の学習行動に与える影響—選手と指導者の関係

性に着目してー

- 合谷徹平 (立命館大学大学院), 長積仁・山浦一保・大友智・小沢道紀・種子田穰 (立命館大学)
25. 個人種目アスリートの自己調整を促す要因の検討ー指導者のリーダーシップ行動と目標志向性の観点からー
- 笠川佳子 (立命館大学大学院), 山浦一保・佐久間春夫・長積仁・大友智・小沢道紀・種子田穰 (立命館大学)
26. ヒューマンカロリーメーターを用いた簡易エネルギー消費量測定法の妥当性の検討
- 山本満 (同志社大学大学院), 田中美沙妃・野村仁志・海老根直之 (同志社大学)
27. 食事がスポーツドリンクの吸収速度に与える影響ー安定同位体を用いたアプローチー
- 田中歌 (同志社大学), 下山寛之 (福岡大学大学院), 山田陽介 (京都府立医科大学), 桧垣靖樹 (福岡大学), 田中宏暁 (福岡大学), 海老根直之 (同志社大学)
28. 高等学校における武道領域 (剣道) の体育授業に関する研究ー観点別評価及び伝統的な行動の仕方の分析を通してー
- 橋本祐貴 (立命館大学大学院), 元塚敏彦 (皇学館大学), 大友智・山浦一保・長積仁・小沢道紀・種子田穰・佐久間春夫 (立命館大学)
29. インターンシップによる社会人基礎力の獲得ースポーツ系大学生に焦点をあててー
- 深津達也 (びわこ成蹊スポーツ大学)
30. 体育大会が学級に与える影響について
- 川村亮輔 (びわこ成蹊スポーツ大学), 谷川尚己・金森雅夫 (びわこ成蹊スポーツ大学)
31. 体育科における態度に関する検討ー学習指導要領における内容と評価規準における観点からー
- 南島永衣子 (びわこ成蹊スポーツ大学), 大友智 (立命館大学)
32. 復興ボランティアが大学生の環境配慮意識・行動に及ぼす影響ーびわこ成蹊スポーツ大学生を例としてー
- 井上望 (びわこ成蹊スポーツ大学)
33. 北アルプストレーキングにおける免疫能・心理状態の変化に関する研究
- 林綾子 (びわこ成蹊スポーツ大学), 金森雅夫 (びわこ成蹊スポーツ大学)
34. スポーツ NPO におけるタスク・コンフリクトが組織市民行動に与える影響ー目標の受容に着目してー
- 與那安貴 (立命館大学大学院), 長積仁・山浦一保・大友智・小沢道紀・種子田穰 (立命館大学)
35. ランニングクラブの価値共創における顧客のオペラント資源の適用がベネフィットの享受に与える影響
- 辻本哲郎 (立命館大学大学院), 長積仁・山浦一保・大友智・小沢道紀・種子田穰 (立命館大学)

◆一般研究発表 1 題

36. 運動時の脱水率と尿量および尿色調の関係
- 藤松典子 (びわこ成蹊スポーツ大学, 滋賀県立大学大学院), 宮田真希 (大阪薬科大学), 寄本明 (滋賀県立大学大学院), 中井誠一 (京都女子大学)

◆研究助成報告 2 題

37. 中学校武道必修化に向けての教育実践プログラムの開発
- 黒澤寛己 (京都市立塔南高等学校), 横山勝彦 (同志社大学), 有山篤利 (聖泉大学)
38. 生徒からみたスポーツ系卒業研究の意義と課題ー公立 A 高等学校における実践に基づいてー
- 千代恭司 (京都府立向陽高等学校), 来田宣幸 (京都工芸繊維大学)

## (2) 第 141 回京都体育学会・総会

日時：平成 24 年 3 月 3 日（土）14：00～

場所：びわこ成蹊スポーツ大学（第 2 講義棟・大ホール）

### 1) 議題

- ①平成 23 年度実施事業報告（中理事長）
- ②平成 23 年度決算報告（来田会計理事）
- ③平成 23 年度会計監査報告（長谷川監事）
- ④平成 24-25 年度役員選挙結果（浜崎選管委員長）および新役員体制報告（中井会長）
- ⑤京都体育学会名誉会員への推挙（小松崎庶務理事）
- ⑥京都体育学会の名称変更案（小松崎庶務理事→岡本副会長）
- ⑦京都体育学会専門分科会規程の廃止案（小松崎庶務理事）
- ⑧京都体育学会会則の一部改正案（小松崎庶務理事）
- ⑨京都体育学会研究集会規程の制定（小松崎庶務理事→中理事長）
- ⑩平成 24 年度事業計画案（中理事長→岡本副会長）
- ⑪平成 24 年度予算案（来田会計理事）

以上の 11 項目について審議され、全て承認された。①②③および⑩⑪については、本稿および別紙を参照。その他の承認事項については以下の通り。

#### ④平成 24-25 年度役員選挙結果

##### ●選挙管理委員会

委員長：浜崎博（監事・京葉大），副委員長：長谷川豪志（監事・京産大）

委員：中比呂志（理事長・京教大），委員：小松崎敏（庶務理事・京教大）

開票立会人：小山宏之（他支部から転入のため選挙告示時に非会員・京教大）

##### ●平成 23 年 12 月 14 日告示 → 平成 24 年 1 月 18 日締切（選管必着）

##### ●被選挙人（261 名）および投票権（268 名），選出定数 8

##### ●63 通投票のうち有効投票 60 票・有効投票率 = 22.4%

##### ●開票作業：平成 24 年 1 月 23 日 18:00 から京都教育大学にて

### 平成 24-25 年度役員選挙結果および新役員体制（敬称略）

会員選出理事	
会 長	岡本 直輝（立命大）
副会長	芳田 哲也（工繊大）
同	野村 照夫（工繊大）
理事長	中 比呂志（京教大）
理 事	来田 宣幸（工繊大）
理 事	神崎 素樹（京 大）
理 事	真田 樹義（立命大）
理 事	小松崎 敏（京教大）

会長推薦理事	
理 事	金森 雅夫（びわ大）
理 事	竹田 正樹（同 大）
理 事	松永 敬子（龍谷大）
理 事	南 和広（滋県大）
理 事	寄本 明（滋県大）

  

監 事	木村みさか（府医大）
監 事	長積 仁（立命大）

⑤京都体育学会名誉会員への推挙

田口貞善 先生（京都大学名誉教授）平成 24 年 4 月 1 日付けにて

- ・平成 8 年～ 10 年 京都体育学会第 12 代理事長
- ・平成 10 年～ 16 年 京都体育学会第 13 代会長
- ・平成 18 年～ 京都体育学会顧問

⑥京都体育学会の名称変更

平成 24 年 4 月 1 日付けにて、京都体育学会の名称を京都滋賀体育学会に変更する。英名は、Kyoto and Shiga Society of Physical Education, Health and Sport Sciences とする。なお、関係諸規定の「京都体育」の語をすべて「京都滋賀体育」に読み替えることとする。

⑦京都体育学会専門分科会規程の廃止

平成 24 年 3 月 3 日をもって、京都体育学会専門分科会規程を廃止する。その発展解消策として、同日、京都体育学会研究集会規程を制定する。

⑧京都体育学会会則の一部改正

京都体育学会の名称が京都滋賀体育学会に変更されること、専門分科会が廃止されること、および入会金に関する定めが明記されていなかったこと等を踏まえ、平成 24 年 4 月 1 日付けで、以下のよう

昭和 27 年 7 月 5 日制定施行  
平成 23 年 4 月 1 日一部改正  
平成 24 年 4 月 1 日一部改正

新	旧
<p>京都滋賀体育学会会則</p> <p>1. この会を京都滋賀体育学会 (Kyoto and Shiga Society of Physical Education, Health and Sport Sciences) と称する。この会は日本体育学会京都支部を兼ねる。</p> <p>2. 省略</p> <p>3. 削除 (以下、番号を 1 ずつ繰り上げ)</p> <p>3～18. 省略</p> <p>19. この会の目的を達成するために次の事業を行う。 (1)学会大会の開催 (2)講演会等の開催 (3)機関誌「京都滋賀体育学研究」の刊行 (4)その他この会の目的に資する諸事項</p> <p>20. 学会大会は毎年 1 回以上これを開き、研究成果の発表等を行う。</p> <p>21. 省略</p> <p>22. この会の経費は次の収入によって支出する。 (1)会員の入会金および会費 (2)事業収入 (3)他より助成金および寄付金</p> <p>23. 入会金および会費の額は別に記す。名誉会員は会費を免除する。</p> <p>24～26. 省略</p> <p>27. この会則は、平成 24 年 4 月 1 日から実施する。</p> <p>記</p> <p>入会金 500 円 (日本体育学会となる場合には 1,000 円とし、その半額を日本体育学会京都支部が受ける)</p>	<p>京都体育学会会則</p> <p>1. この会を京都体育学会 (Kyoto Society of Physical Education, Health and Sport Sciences) と称する。この会は日本体育学会京都支部を兼ねる。</p> <p>2. 省略</p> <p>3. この会に専門分科会を置くことができる。専門分科会に関し必要な事項は別に定める。</p> <p>4～19. 省略</p> <p>20. この会の目的を達成するために次の事業を行う。 (1)学会の開催 (2)研究会、講演会等の開催 (3)機関誌「京都体育学研究」の刊行 (4)その他この会の目的に資する諸事項</p> <p>21. 研究会は毎年 1 回以上これを開き、研究成果の発表等を行う。</p> <p>22. 省略</p> <p>23. この会の経費は次の収入によって支出する。 (1)会員の会費 (2)事業収入 (3)他より助成金および寄付金</p> <p>24. 会費の額は別に記す。名誉会員は会費を免除する。</p> <p>25～27. 省略</p> <p>28. この会則は、平成 23 年 4 月 1 日から実施する。</p> <p>記</p> <p>(新設)</p>

⑨京都体育学会研究集会規程の制定

京都体育学会専門分科会規程の廃止にともない、平成 24 年 3 月 3 日付けにて京都体育学会研究集会規程を新規制定する。なお、平成 24 年 4 月 1 日以降は、以下の「京都体育」の語を「京都滋賀体育」に読み替える。

## 京都体育学会研究集会に関する規程

平成 24 年 3 月 3 日 制定

1. (目的) 京都体育学会の正会員は次に定める項目を目的として、研究集会を開催できる。
  - 1) 体育・スポーツに関する専門分野の研究促進
  - 2) 他研究分野・他学会との連携
  - 3) 学会員の研究室に所属する学生・院生・研究生の交流の場に対する教育支援
2. (補助金) 京都体育学会理事会が承認した研究集会には 30,000 円を上限として補助する。
3. (開催手続き) 研究集会は、2 名以上の正会員が世話人となり、所定の様式 (別紙 1) に目的、内容 (研究発表会、講演会、実験研修会など)、実施日時および場所、参加予定者を記入し、4 月 1 日から 7 月末日までに京都体育学会理事会会長宛に申請書を提出すること。研究集会は当該年度の 2 月末日までに 1 回程度開催する。
4. (報告の義務) 世話人は、研究集会の講演または発表者、参加者、補助金の使用状況等を明記した書面 (別紙 2) にて当該年度の 2 月末日までに京都体育学会理事会に報告し、理事会は研究集会の内容を京都体育学会総会にて報告する。期日までに理事会への報告がない場合は補助金の返還を求める場合がある。

以上

## 2) 報告

### ①会員動向 (小松崎庶務理事)

平成 24 年 3 月 1 日現在の会員数 303 名 (京都体育学会のみ会員 24 名, 4 名減)

### ②学会誌編集状況報告 (野村編集委員長)

### ③その他

#### i) 日本体育学会第 64 回大会の京都支部担当

日程：平成 25 (2013) 年 8 月 28 日 (水), 29 日 (木), 30 日 (金)

会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス (BKC)

テーマ：未来に生きる－体育・スポーツ・健康－

大会長：田畑泉 (立命館大学健康スポーツ科学部長)

主管：学校法人立命館 立命館大学

#### ii) 京都体育学会研究基金学術研究助成の内定

○三瀬貴生 (医療法人南谷クリニック)・野村照夫 (京都工芸繊維大学)・宇野慎也 (京都文教中・高等学校)『中学および高校水泳部活動における傷害実態とフィジカルケアサポート』

#### iii) 学会賞 (論文賞, 若手研究奨励賞) の発表と表彰

・論文賞：該当論文なし

・若手研究奨励賞：

○田辺弘子（京都大学）・藤井慶輔・神崎素樹（京都大学）『つま先立ち時の立位制御ダイナミクスー静止立位との比較ー』

○田中歌（同志社大学）・下山寛之（福岡大学大学院）・山田陽介（京都府立医科大学）・松垣靖樹・田中宏暁（福岡大学）・海老根直之（同志社大学）『食事がスポーツドリンクの吸収速度に与える影響～安定同位体を用いたアプローチ～』

### (3) 京都体育学会教育講演会およびシンポジウム

日時：平成 24 年 3 月 3 日（土）14：40～17：10

場所：びわこ成蹊スポーツ大学（第2講義棟・大ホール）

『野外スポーツの目指すもの』 飯田稔先生（びわこ成蹊スポーツ大学長）

シンポジウム：コーチングー現場からのメッセージ（びわこ成蹊スポーツ大学競技スポーツ学科）

『なでしこジャパン ワールドカップ優勝のキセキ！』 望月聡先生

『育成大国を目指す』 松田保先生

『大学テニスの役割』 植田実先生

『勝つためには？勝ち続けるためには？』 渋谷俊浩先生

『びわこ式スポーツコーチングの変革ー BSSC コーチングコースの取り組みー』 佐々木直基先生

### (4) 専門分科会の活動

①運動生理・バイオメカニクス（世話人：来田宣幸：野村照夫）

<京都若手研究交流会 2011 >

日時：平成 23 年 12 月 23 日（金）12：30～18：00

場所：京都工芸繊維大学 60 周年記念館・PLAZAKIT

1. 「水中・水上同期撮影による水球投動作の画像解析ー速投と正確投の比較ー」小林達也（愛知教育大学）
2. 「野球のゴロ捕球動作における重心の軌跡とつま先着地座標の分析ー熟練者と未熟練者の違いに着目してー」細井哲也（愛知教育大学）
3. 「剣道の正面打ちにおける動作分析」石川芳樹（愛知教育大学）
4. 「フットサルにおけるトーキック動作の熟練者と未熟練者の違いについて」山田佳祐（愛知教育大学）
5. 「ソフトテニス・グラウンドストロークにおけるラケットヘッドの速度生成への各関節の貢献度の検討」奥村将太（京都教育大学）
6. 「女子走高跳に関するバイオメカニクス的研究ー短助走に注目してー」磯崎大二郎（京都教育大学）
7. 「連続跳躍運動が小学生高学年の疾走動作に与える即時的効果について」九鬼靖太（京都教育大学）
8. 「バスケットボール女子学生初心者のセットシュートの習熟過程」山口拓哉（京都教育大学）
9. 「野球のゴロ捕球における時間的分析」長谷川弘実（京都工芸繊維大学）
10. 「各状況における打撃結果ー第 93 回全国高校野球選手権大会公式記録よりー」松尾幸治（京都工芸繊維大学）
11. 「過去や現在の生活習慣が、現在の身体状態にどのような影響を与えるか」大塚翔仁（京都工芸繊維大学）
12. 「曲線走における走パラメーターを用いたパフォーマンス向上のための基本的研究」和田一宏（京都工芸繊維大学）

13. 「アロマセラピーと自律神経」 高野奈津子（京都工芸繊維大学）
14. 「視覚および聴覚刺激による身体の反応」 藤井陸（京都工芸繊維大学）
15. 「ストリートダンス実施中の気分（乗り）と動作について」 小島理永（京都工芸繊維大学）
16. 「特定の感情を効果的に伝えることができる言葉とは」 高橋元（京都工芸繊維大学）
17. 「陸上競技のスプリント走における単独走と競走の差異－疲労時の競走効果に焦点をあてて－」 豊嶋陵司（大阪教育大学）
18. 「Arm－LegCoordination 指標を用いた平泳ぎにおけるストローク動作の評価－ストローク頻度の変化と疲労が与える影響に焦点をあてて－」 大西弘祐（大阪教育大学）
19. 「走幅跳におけるファウルの発生要因の抽出」 熊野陽人（大阪教育大学）
20. 「スポーツ場面におけるプレッシャー下での不安記述が、運動パフォーマンスに及ぼす影響」 加藤健太（大阪教育大学）
21. 「平泳ぎのストローク頻度と疲労が呼吸動作に及ぼす影響」 百瀬弘祐（大阪教育大学）
22. 「青年海外協力隊におけるスポーツ隊員の事例的研究－帰国後の定着と技術移転に着目して－」 斎藤沙季（大阪教育大学）
23. 「競技スポーツを行なうことにより何を不得何を失うか」 玉木壽成（大阪教育大学）
24. 「障害者スポーツの環境について－シッティングバレーボールを事例に－」 本城梨紗（京都ノートルダム女子大学）

## ②体育経営管理（世話人：中比呂志）

<平成 23 年度京都体育学会体育経営管理専門分科会学生合同研究発表会>

日時：平成 24 年 2 月 12 日（日）10：00～17：00

場所：大阪成蹊学園びわこセミナーハウス

1. 「女子プロ野球観戦者の観戦行動とマーケティング戦略に関する研究」 武真梨子（龍谷大学）
2. 「大学生におけるスポーツ用品の消費行動特性に関する研究～DIADORA に注目して～」伊藤遊野（龍谷大学）
3. 「カレッジスポーツへの観戦行動と大学へのコミットメントに関する一考察～龍谷大学の学生に注目して～」 岡本麻以（龍谷大学）
4. 「新聞記事からみた東日本大震災後のスポーツにまつわる動き」 有好孝平・相原恵・奥野邦彦・竹川泰考（同志社大学）
5. 「女子ラグビーにおける競技の普及に関する研究－競技の採用過程と採用が組織にもたらす効果に着目して－」 和田由佳子（立命館大学大学院）
6. 「失敗時における指導者の懲罰に対する認知が選手の学習行動に与える影響－選手と指導者の関係性に着目して－」 合谷徹平（立命館大学大学院）
7. 「スポーツ NPO におけるタスク・コンフリクトが組織市民行動に与える影響－目標の受容に着目して－」 與那安貴（立命館大学大学院）
8. 「高校生からみた部活動の意義～中学校・高等学校の部活動キャリアパターンの視点から～」 田中茜衣（京都教育大学）
9. 「学校運動部活動における顧問教員が抱える問題～中学校・高等学校顧問教員調査を通して～」 松尾智美（京都教育大学）
10. 「児童・生徒の運動有能感を高める授業実践の類型化」 上田美結（京都教育大学）



11. 「教員志望学生の ICT 活用力の実態」加藤春奈（京都教育大学）
12. 「教育実習の効果とその課題～これまでの研究成果を吟味して～」楠本恵理（京都教育大学）
13. 「日本スポーツ界の環境保全活動の現状と課題」戸井田明（京都教育大学）
14. 「学校体育における持久走・長距離走の授業実践と課題～効果的な持久走・長距離走の授業に着目して～」中村真悠子（京都教育大学）
15. 「京都府下小学校高学年における動作スキル獲得状況についての調査報告」鈴木勝雄（京都教育大学）
16. 「スポーツウェアの購買に対する意識相違からのアプローチ」内海沙織（びわこ成蹊スポーツ大学）
17. 「e スポーツとリアルスポーツの実施動機に差異はあるのか」芦田悠（びわこ成蹊スポーツ大学）
18. 「個人競技種目における理想のリーダーシップとは」中上琴恵（びわこ成蹊スポーツ大学）
19. 「ブランド拡張によるサブブランドが企業ブランドに及ぼす影響—スポーツブランドのブランド価値—」上原花奈恵（びわこ成蹊スポーツ大学）
20. 「テレビ番組によるプロスポーツ選手のイメージ形成—種類の異なるテレビ番組間の比較—」大久保美希（びわこ成蹊スポーツ大学）
21. 「bj リーグと JBL の統合—bj リーグ試合観戦者の態度形成に着目して—」阿墨大介（びわこ成蹊スポーツ大学）
22. 「スポーツブランドにおける消費者パーソナリティとブランドパーソナリティの関係性—ファッションとして着用するウェアに着目して—」野田和宏（びわこ成蹊スポーツ大学）
23. 「J リーグクラブのファンクラブへの入会意図—特別待遇サービスとグッズ特典に着目して—」森田香綾（びわこ成蹊スポーツ大学）

## (5) 平成 23 年度京都体育学会理事会および役員会

第 1 回：平成 23 年 4 月 22 日（金）18:30～20:10、場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 平成 22 年度事業の総括 2. 平成 23 年度事業計画（案） 3. 理事の役割分担 4. 第 141 回京都体育学会大会・総会の担当大学 5. 専門分科会のあり方 6. 京都体育学会 60 周年記念事業 7. 講演会・実践研究会 8. 研究基金（研究助成）の公募条件 9. 会員動向、異動状況等の把握 10. ホームページの開設 11. 平成 24-25 年度役員選挙 12. 他学会との研究交流 13. 新規学会員募集戦略

臨時：平成 23 年 5 月 23 日（月）18:40～19:45、場所：京都女子大学

議題：1. 第 64 回日本体育学会（平成 25 年度開催予定）の京都支部担当審議と会場校選定 2. 専門分科会のあり方

第 2 回：平成 23 年 7 月 15 日（金）18:30～20:10、場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第 141 回京都体育学会大会 2. 講演会・実践研究会 3. 専門分科会のあり方 4. ホームページの開設 5. 京都体育学研究第 27 巻編集状況 6. 研究基金学術研究助成の公募 7. 京都体育学会 60 周年記念事業 8. 新規学会員募集戦略 9. 会員動向 10. 京都体育学会だより 34 号 11. 京都体育学会の名称

第 3 回：平成 23 年 9 月 8 日（木）18:30～20:20、場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 日本体育学会選挙細則検討委員会の提案に対する回答 2. 第 141 回京都体育学会および講演会・実践研究会 3. 京都体育学会専門分科会のあり方 4. 京都体育学会ホームページの運営 5. 第 4 回（平成 24 年度）研究基金学術研究の公募 6. 京都体育学会 60 周年記念事業 7. 平成 24-25 年度役員選挙 8. 京都体育学会の名称

第4回：平成23年11月14日(月)18:30～20:50、場所：京都女子大学

議題：1. 京都体育学会および京都支部の名称 2. 第141回京都体育学会および講演会・実践研究会 3. 京都体育学会専門分科会のあり方 4. 京都府スポーツ賞の推薦 5. 京都体育学会賞(奨励論文賞)の選考委員会 6. 京都体育学研究掲載論文の学術情報リポジトリ等への登録

第5回：平成24年1月24日(火)18:30～19:50、場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第141回京都体育学会および講演会 2. 京都体育学会専門分科会のあり方 3. 京都体育学会の名称 4. 京都体育学会会則変更 5. 理事会の引き継ぎ

第6回：平成24年2月15日(火)18:40～20:35、場所：京都キャンパスプラザ

議題：1. 第141回京都体育学会および講演会 2. 京都体育学会第141回総会議案と役割分担 3. 顧問・名誉会員の推挙 4. 京都体育学会の名称変更 5. 平成23年度決算および会計監査 6. 学会誌発刊遅延に伴う広告費請求の手続き

第7回(役員会)：平成24年3月3日(土)12:00～13:00、場所：びわこ成蹊スポーツ大学

議題：1. 平成23年度総会議案および役割分担 2. 平成23年度実施事業報告 3. 平成23年度決算および会計監査報告 4. 平成24-25年度役員選挙結果と新役員体制 5. 名誉会員の推挙 6. 京都体育学会の名称変更案 7. 京都体育学会専門分科会規程の廃止案 8. 京都体育学会会則の一部改正案 9. 京都体育学会研究集会に関する規程の制定案 10. 平成24年度事業計画案 11. 平成24年度予算案 12. 平成24年度学術研究助成の選考結果 13. 平成23年度学会賞(奨励論文賞)の選考結果 14. 平成23年度学会賞(若手研究奨励賞)の開票結果 15. 会員動向 16. その他

## (6) 基金活用による事業

1) 第4回京都体育学会研究助成(上記(2)の2)の③のii)参照)

## (7) 京都体育学研究(第27巻)平成23年12月発行

## II 平成23年度決算報告【別紙1】

## III 会計監査報告【別紙1】

## IV 平成24年度事業計画

- (1) 第142回京都滋賀体育学会大会60周年記念大会・総会
- (2) 京都滋賀体育学会理事会・役員会
- (3) 京都滋賀体育学会講演会および実践研究会
- (4) 京都滋賀体育学研究第28巻発行
- (5) 京都滋賀体育学会研究基金活用事業<学術研究助成>
- (6) 京都滋賀体育学会賞<奨励論文賞, 若手研究奨励賞>
- (7) 京都滋賀体育学会研究集会活動

## (8) 京都滋賀体育学会 60 周年記念事業

### V 平成 24 年度予算【別紙 2】

### VI その他

#### (1) 会員の動向

平成 19 年 3 月 1 日現在	283 名 (京都体育学会のみ 19 名)
平成 20 年 3 月 1 日現在	295 名 (京都体育学会のみ 21 名)
平成 21 年 3 月 1 日現在	288 名 (京都体育学会のみ 19 名)
平成 22 年 3 月 1 日現在	299 名 (京都体育学会のみ 22 名)
平成 23 年 3 月 1 日現在	307 名 (京都体育学会のみ 24 名)
平成 24 年 3 月 1 日現在	303 名 (京都体育学会のみ 24 名)

---

### 事務局・庶務関係連絡先のお知らせ

京都滋賀体育学会事務局

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 京都教育大学体育学科  
中比呂志 (京都滋賀体育学会理事長)

TEL : 075-644-8280, E-mail:gori@kyokyo-u.ac.jp

小松崎敏 (京都滋賀体育学会庶務担当理事)

TEL : 075-644-8285, E-mail:koma@kyokyo-u.ac.jp

---

### 京都滋賀体育学会ホームページのお知らせ

<http://www.kyoto-taiiku.com> (きょうと - たいいくドットコム)

[info@kyoto-taiiku.com](mailto:info@kyoto-taiiku.com) (インフォ@きょうと - たいいくドットコム)

平成 23 年度事業として計画しておりました京都体育学会ホームページについて、平成 23 年 2 月に開設、7 月に移転が完了しました。今後コンテンツ等の充実につとめ、会員のみなさまに対する情報提供の場として活用していきたいと考えております。

---

### 投稿規定等が変わりました

2010 年 3 月に開かれた京都体育学会総会にて、京都滋賀体育学研究投稿規定および執筆要領の改訂が承認されました。新しい投稿規定やその他の資料は本巻に掲載されています。また、学会ホームページからもダウンロードできますので、ご参照ください。

---

---

## 事務局からのお願い

### ※会費の納入について

日本体育学会会員は 12,000 円（京都滋賀体育学会会費 2,000 円を含む）を日本体育学会事務局へ納入して下さい。自動払込制度を利用されている会員は、7 月上旬に引き落としとなります。新会員の方は自動振込手続きをとって下さい。

京都滋賀体育学会だけに所属する会員は、2,000 円を下記口座に納入して下さい。

郵便振替口座番号：01070-7-23829

他金融機関からの振込の場合

ゆうちょ銀行 一〇九（イチモウキウ）店 当座 0023829

加入者名：京都滋賀体育学会

日本体育学会及び京都滋賀体育学会入会の手続きについては、事務局（庶務担当理事）までご連絡下さい。また、会員の所属、住所（電話）などに変更が生じた場合にもご連絡をお願い致します。

※日本体育学会年会費の自動引き落としタイミングは、年4回（7月、11月、2月、4月）です。引き落としができない場合には、退会者扱いとなり、学会大会案内や体育学研究所の送付が停止されますのでご注意ください。

---

## 論文募集

「京都滋賀体育学研究」第 29 巻の論文を募集します。投稿規定・執筆要項に従って投稿して下さい。会員皆様の投稿をお待ちしております。

論文投稿先（編集委員会連絡先）

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500

滋賀県立大学人間文化学部 寄本明研究室

TEL/FAX：0749-28-8259, E mail: yorimoto@ice.usp.ac.jp

---